

試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：秀品・大果メロンを生産する株間と仕立て方法			
<p>[要約] ハウス半促成栽培、トンネル栽培とも秀品・大果メロンを生産できる仕立て方法は、慣行の子づる 2 本 4 果どりより 2 本 2 果どりである。株間及び摘心位置は、ハウス半促成栽培の「アムス」では株間 50cm子づる 20 節、「タカミ」では株間 75cm子づる 23 節、トンネル栽培では両品種とも株間 60cm子づる 23 節が最も適する。</p>			
キーワード：メロン、株間、仕立て本数、果実肥大、糖度			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター・北総園芸研究所・東総野菜研究室 協力機関 海匠農林振興センター、JAちばみどり		
実施期間	2007 年度～2009 年度		

[目的及び背景]

東総地域のメロン栽培では、各種土壌病害の蔓延などにより生産が不安定となっており、長期連作圃場でも果実の肥大が優れ、外観、糖度などが優れる高品質なメロンを生産できる栽培技術が求められている。そこで、秀品率及び大果割合を向上させる栽植方法、整枝・着果方法を明らかにする。

[成果内容]

ハウス半促成栽培、トンネル栽培とも秀品・大果メロンを生産できる仕立て法は、慣行の子づる 2 本 4 果どりより 2 本 2 果どりである。作型及び品種別の最適な株間、仕立て法は以下のとおりである。

- 1 ハウス半促成栽培の「アムス」では、株間 50cm子づる 2 本仕立て 20 節 2 果どりとするると裂果率が低く、糖度が変わらず、秀品収量が最も多くなる（表 1）。
- 2 ハウス半促成栽培の「タカミ」では、株間 75cm子づる 2 本 23 節 2 果どりとするると大果割合が高く、糖度が変わらず、秀品収量が最も多くなる（表 1）。
- 3 トンネル栽培では、両品種とも株間 60cm子づる 2 本 23 節 2 果どりとするると 4 L 以上の大果割合が高く、秀品収量が最も多くなる。また、「タカミ」では糖度が高くなる（表 2）。

[留意事項]

- 1 株間を狭くするほど、整枝・誘引作業を早めに行わないと作業性が悪化しやすい。
- 2 定植時に深さ 20cmの地温が 20 になるように定植前の被覆期間を十分にとる。
- 3 交配からネット発生前の果実肥大初期の保温・保湿により果実肥大を促す。
- 4 実際の株間は、前作のメロンの生育状況により調整する。
- 5 栽培面積あたりの苗数が増えるので、必要な育苗面積を確保する。

[普及対象地域] 県内全域

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表1 ハウス半促成栽培メロンの株間及び仕立て法の違いと果重、外観、糖度及び秀品収量

品 種	試験区	果 重 (g /果)	ネット	果皮色	裂果率 (%)	糖度 (Brix値)	総収量 (t /10a)	秀品収量 (t /10a)	大果割合 (%)
アムス	50cm2節 2果	1,260	3.8	4.0	6.3	16.5	4.2	4.0	21.9
	75cm2節 2果	1,500	3.9	3.9	21.9	16.4	3.3	2.8	68.8
	75cm2節 2果	1,530	4.0	4.0	18.8	16.7	3.4	2.6	78.1
	100cm2節 4果	1,190	3.0	3.2	0.0	16.8	4.0	3.2	6.3
タカミ	50cm2節 2果	1,460	3.8	4.0	0.0	17.5	4.9	4.8	62.5
	75cm2節 2果	1,750	3.9	4.0	0.0	17.4	3.9	3.9	96.9
	75cm2節 2果	1,790	4.1	4.0	0.0	17.6	4.0	4.0	96.9
	100cm2節 4果	1,390	3.2	3.2	0.0	17.9	4.6	3.5	43.8

- 注1) 試験区は株間、子づる本数、子づるの摘心位置、株当たり着果個数を示す(2節の2区は遊びづるなし)。
 2) 平成19年1月31日播種、3月2日定植、4月10~13日交配、6月10~12日収穫。
 3) 1区8株4反復。
 4) 大果割合は2L(1,400~1,620g)以上の割合。
 5) ネットは密度を5(密)~1(疎)、太さを5(太)~1(細)、盛り上りを5(良)~1(不良)の各5段階評価の平均値を示す。
 6) 果皮色は果皮の色合いを5(良)~1(不良)の5段階に果実ごとに評価した平均。

表2 トンネルメロンの株間及び仕立て方法の違いと果重、外観、糖度及び秀品収量

品 種	試験区	果 重 (g /果)	ネット	果皮色	裂果率 (%)	糖度 (Brix値)	総収量 (t /10a)	秀品収量 (t /10a)	大果割合 (%)
アムス	80cm3本 2節 3果	2,070	4.1	3.8	29.0	13.8	2.2	1.4	90.5
	80cm3本 2節 3果	2,160	3.9	3.8	2.9	14.1	2.3	1.6	94.3
	60cm2本 2節 2果	2,260	3.9	3.6	9.1	13.7	3.1	1.9	95.7
	80cm2本 2節 4果	1,730	2.8	3.7	3.4	13.8	3.6	0.6	34.0
タカミ	80cm3本 2節 3果	2,470	3.7	3.9	0.0	16.1	2.6	1.7	98.6
	80cm3本 2節 3果	2,570	3.5	3.8	0.0	16.5	2.7	0.9	98.5
	60cm2本 2節 2果	2,720	3.8	4.0	0.0	16.4	3.8	2.6	97.9
	80cm2本 2節 4果	2,120	3.0	3.0	0.0	14.9	4.4	0.2	86.5

- 注1) 試験区は株間、子づる本数、子づるの摘心位置、株当たり着果個数を示す(80cm3本 2節 3果区は遊びづるなし)。
 2) 平成19年3月3日播種、4月4日定植、5月16~18日交配、7月10~12日収穫。
 3) 1区8株4反復。
 4) 大果割合は4L(1,800g~)以上の割合。
 5) ネット、果皮色の評価は表1に同じ。

[発表及び関連文献]

[その他]